

後下小脳動脈分岐部を含む破裂性解離性椎骨動脈瘤に対して stent 併用 bleb 塞栓と親動脈塞栓術を施行した 1 例

Bleb with stent and parent artery embolization of a ruptured dissecting aneurysm involving PICA

赤路 和則¹⁾ 吉田 啓佑¹⁾ 木幡 一磨²⁾

1) 公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 脳神経外科

2) 公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 脳卒中科

〔目的〕後下小脳動脈分岐部を含む破裂性解離性椎骨動脈瘤に対しては、治療に難渋することが多い。今回、我々は、後下小脳動脈温存目的での stent 併用 bleb 塞栓後、近位椎骨動脈 coil 塞栓術を施行した症例を経験したので報告する。

〔症例〕52 歳、男性。突然の頭痛で発症、当院へ救急搬送。検査中、昏睡状態、呼吸微弱となり、気管内挿管、人工呼吸器装着を施行。3D-CTA 上、左解離性椎骨動脈瘤破裂によるくも膜下出血の診断。緊急で全身麻酔下脳血管撮影をしたところ、左解離性椎骨動脈瘤の bleb 近傍より後下小脳動脈が分岐していた。そこで、後下小脳動脈を分離して温存するため stent 併用 bleb 塞栓後、後下小脳動脈分岐部近位の瘤を含めた椎骨動脈を coil 塞栓する方針とした。抗血小板剤投与なし。右大腿動脈より左鎖骨下動脈へ 6Fr Shuttle sheath 誘導、左椎骨動脈へ Vecta71 誘導。動脈瘤 bleb へ Echelon14 誘導、左椎骨動脈へ Neuroform Atlas 4.5mm x 30mm 留置。動脈瘤 bleb 塞栓後、全身 Heparin 化、後下小脳動脈分岐部近位の瘤を含めた椎骨動脈を coil 35 本で塞栓した。術後、左椎骨動脈撮影で左椎骨動脈閉塞、右椎骨動脈撮影で左後下小脳動脈温存が確認できた。術後、Ozagrel Sodium を投与、明らかな脳梗塞を認めていない。2 ヶ月後の脳血管撮影で、左椎骨動脈閉塞と左後下小脳動脈温存が確認できている。術後破裂を認めていない。

〔結語〕後下小脳動脈分岐部を含む破裂性解離性椎骨動脈瘤に対して stent 併用 bleb 塞栓と親動脈塞栓術は有用である。